

親子で考えるがん教育

～もしも、大切な人が がんになった時～



がんの罹患者数は年間100万人近くなり、毎年上昇しております。

日本では、2人に1人ががんになると言われています。現在日本人の死亡原因は、がんが第1位で約36万人が亡くなっています。決してがんは、他人事ではすまなくなっています。

わが国では、平成18年にがん対策基本法を制定し、文部科学省は、平成24年度に学校における「がん教育」を打ち出し、準備をしてきました。小学校からのがん教育は、健康推進のための生活習慣を初期に確立するために必須です。がんを学ぶことは、命の大切さ、生き方を考える大きな機会となります。

いざという時に慌てないために、もしがんになった時、どうしたらよいか親子で一緒に考えてみませんか？

【日時】 令和元年7月14日（日）14時～16時30分

【会場】 野田市川間公民館 講堂（定員100名）千葉県野田市中里720

【対象】 小中高校の児童生徒、ご家族、小中高の先生方、保健医療福祉関係者、がん体験者など

【参加費】 無料

【申し込み】 事前申し込み（連絡先：高野まで） *当日参加も、もちろんOKです。



第1部 樋野興夫先生のおはなし

第2部 “いのちのコンサート”若草会主宰 高橋裕子他

第3部 体験談 ①小児がんを乗り越えて:11歳の時小児がん現在小学校教師
②お母さんががんになった時の気持ち:野田がんカフェスタッフ

第4部 カフェタイム 茶を飲みながらフリートーク ※個人面談(要予約)



講師 H30.9 日本対がん協会朝日大賞受賞 (H30.9.5 朝日新聞朝刊に掲載)
現在文京区内の小・中学校で「がん教育」を指導
新渡戸稲造記念センター長・順天堂大学名誉教授

一般社団法人がん哲学外来理事長 樋野 興夫

がん患者や家族が、病院の外で医者と話せる場が必要性を痛感し、誰でも自由に来て帰れ、何でも話せる「がん哲学外来」を創設(2008年)対話や「言葉の処方箋」を通して患者や家族を支援する個人面談や講演活動を精力的に続けている。

著書:「明日この世を去るとしても、今日の花に水を上げなさい」(幻冬舎文庫)

「あなたはそこにいるだけで価値がある」(KADOKAWA)など多数あり



主催:野田がん哲学外来&メディカルカフェ運営協議会 共催:春日部がん哲学外来&メディカルカフェ
後援:野田市教育委員会・一般社団法人がん哲学外来

<連絡先・個人面談のご予約> 070-2179-0457 FAX 04-7103-8836

メール: tmm_takano@yahoo.co.jp

代表責任者: 高野みどり がん哲学外来認定コーディネーター(元上武大学看護学部准教授・放送大学客員准教授)